

1. 件名：特定原子力施設監視・評価検討会（第76回）に係る面談

2. 日時：令和元年11月14日13時30分～15時00分

3. 場所：原子力規制庁 4階幹部会議室

4. 出席者

原子力規制委員会

伴委員

原子力規制庁

長官官房

金子審議官、安井原子力規制特別国際交渉官

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

竹内室長、岩永企画調査官、林田管理官補佐、磯田係員

東京電力ホールディングス株式会社

福島第一廃炉推進カンパニー 小野廃炉・汚染水対策最高責任者

他17名

5. 要旨

○東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、資料に基づき以下について説明があった。

- 2号機燃料取り出し工法の検討状況について
- 1号機オペレーティングフロアのがれき撤去の進捗状況について
- 建屋滞留水等の処理の進捗状況について
- 露出水位計の指示値上昇による運転上の制限（以下「LCO」という。）からの逸脱事象について
- 3号機燃料取扱設備の状況について

○原子力規制庁は上記について東京電力の認識を確認するとともに、以下のとおりコメントをした。

- 2号機燃料取り出し工法の検討状況について、有人ではなくパックボットによる作業を検討すること。
- 1号機オペレーティングフロアのがれき撤去の進捗状況について、使用済燃料プール養生の効果を定量的に評価すること。
- 建屋滞留水等の処理の進捗状況について、高線量のゼオライト土のうの処理方法について検討すること。
- 露出水位計の指示値上昇によるLCOからの逸脱事象について、LCO運用を見直し、LCOとして意味のある設定をすること。
- 3号機燃料取扱設備の状況について、予備品としないと判断した部品についても整理すること。また、今後調達する2号機燃料取扱設備に品質

管理の改善結果を反映させた状況を説明すること。

○東京電力から、上記について了解した旨、回答があった。

6. 資料

- 2号機燃料取り出し工法の検討状況について（案）
- 3号機燃料取出設備の状況について（案）建屋滞留水処理の進捗状況について（案）
- 福島第一原子力発電所1号機オペレーションフロアのガレキ撤去の進捗状況（案）
- 露出水位計の指示値上昇について【LCO逸脱事象】（案）